

2022年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(春期・一般選抜) 問題

専門科目Ⅰ 東洋・日本美術史 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

受 験 記 号 番 号	
-------------	--

成績	績
----	---

2022年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(春期・一般選拔) 問題

專 門 科 目 I (東洋・日本美術史)

一、日本美術における「形態の伝承」とその意義について、自身の関心に沿った具体的事例をあげながら論じなさい。

受験記号番号	
--------	--

二、各設問の指示にしたがって答えなさい。

問題 1

以下の文章は、『歴代名畫記』巻一の「論畫六法」の一節である。これを読み、書き下し文を作成しなさい。

唯觀吳道玄之迹、可謂六法俱全、萬象必盡、神人假手、窮極造化也。所以氣韻雄壯、幾不容於縑素、筆迹磊落、遂恣意於牆壁、其細畫又甚稠密、此神異也。

問題2

左に示した資料は『近世名家書画談』（安西雲煙著・一八三二年刊行）の一部である。全文（ふりがなを含む）を現代通用の表記に書き改めなさい。

書画帖の事

書画帖、唐山^{とうざん}とは早くあると世に傳へるを古く
とて鑑^{かん}と稱^{しょう}し古人の遺墨^{いもく}を集め現存する近時を此
事都鄙^{とひ}を行へ書画帖と呼び都鄙とも預め帖子^しを
製しこれを携へ四方奔走^{ほうそう}して知る者^{もの}を書
画人の揮毫^{ひごう}とて此帖^しを多く多く貪^{ひそめ}り増え
りて上計^{じょうけい}にふるや今の書画人の筆^{ふで}をたてて今
向^{むか}ふ京師^{きやうし}の人瑞隆^{ずいりゅう}字^し文仲^{ぶんちゆう}といふ春莊^{しゆんさう}と号し書を鬻^{ひやく}
をりて業^{わざ}とて能^{あた}るを能^{あた}る隠^{かく}操^{そう}ある人なりと云天明年
中京師の大火^{たいか}ありてなる家^{いえ}を拓^{たく}せりて春莊帖^{しゆんさうし}と名
付る書画帖^{しやうがくし}を懐^{いだ}きて知己^{ちぎ}の諸名家^{しよめい}を以^{もつ}て示^{しめ}るやめ
此帖^しを以^{もつ}て別莊^{べつさう}とてたてりて云生事^{しやうじ}時^{とき}に傳^{たつ}へ
うへん真^まの好^{この}むものなりとて又^{また}其^{その}像^{さう}を掲^かげ

受験記号番号	
--------	--

三、次の項目について略述しなさい。

A、舍利信仰と美術

B、賢聖童子

C、東洋絵画に用いる白色顔料

受験記号番号	
--------	--

D、印象主義

E、美術における聖母子